

令和 7 年度 夏期特別展 基本計画書

種別	特別展	名称	絶滅動物展	
会期	令和 7 年 7 月 19 日（土） ～9 月 21 日（日）		実開催日数	65 日間
開催場所	萩博物館 企画展示室、人と自然の展示室		担当者名	（主担当）川原康寛
共催	萩市、萩市教育委員会ほか（調整中）		後援	山口県、山口県教育委員会ほか
基本方針	経緯と課題	<p>例年、当館の夏期特別展は、主に市内・県内の子供や親子をターゲットに据え、夏休みの遊び場や学び場の「定番行事」として親しまれてきた。一方で、展示の技法が定番化したことにより、遊び方や学び方が多様化する昨今において、他施設・行事との競合にさらされ、ニーズが相対的に低下している。また、近年の学校職員の負担軽減策や郵送費の問題によるチラシ配布の困難化や、資材高騰による予算不足、館内スタッフの高齢化による会場配置人員の不足などにより、従来のような夏期特別展の運営が困難になりつつある。さらに、全国各地と同様に萩市においても人間活動による環境異変が進行しており、それを啓蒙する学習機会が必要とされている。これらの課題を解決するため、本展では下記のこと着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学ぶことができ、新規性のあるコンテンツの展開 ・自然学習機会の創出 ・一定の規模や来場者数を堅持しつつ持続可能な特別展の運営方法の考案 		
	テーマ	子供を中心に人気が高い「絶滅動物」をテーマに、昨今の人間活動による環境破壊に焦点を当てて普及啓発し、親子の夏休みの遊び場としての集客を目指しながら、学び場としての学習基盤の形成を図る。		
	ねらい①	「体験学習」や「家族学習」といった観点で展示を展開し、子供達の遊び場/学び場としてのニーズを開拓・拡大する。		
	ねらい②	前年度の夏展アンケートで人気の高かった「絶滅動物」をテーマに、身近な自然への親しみの醸成や探究機会の創出を図る。		
	ねらい③	電子・紙媒体のハイブリッド型広報、監視カメラ・音声ガイドによる会場内対応などの導入により、持続的な展示会運営の道筋を創る。		
目 標	来場者数	30,000 人		
	ターゲット層	<p>【年代】 幼稚園・保育園及び小学生とその保護者</p> <p>【属性】 ・生き物に興味を持つ子供</p> <p>・夏休みの学び場/遊び場を求めるファミリー層</p> <p>・学校や児童クラブなどの団体</p> <p>【エリア】 萩市、山口県内、近隣県（広島・福岡・島根）</p>		
	その他指標	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧満足度（アンケートで展示に満足と回答する人の割合）：80%以上 ・学習貢献度（アンケートで学びを得たと回答する人の割合）：80%以上 ・学校などの団体利用：5 件以上 ・アンケート回答率：総来場者数の 1%以上 		

実施内容	概 要	絶滅動物や絶滅危惧種は、人間活動による環境変化を普及啓発できる格好のテーマである。世界や日本の絶滅種に関する標本・剥製・写真などを展示することで、マクロな視点で人間活動の影響の大きさを訴えつつ、日本や山口・萩の絶滅危惧種の資料も展示することで、「絶滅」というショッキングなキーワードが決して我々にとって縁遠いものではないことを啓発する。併せて、多様な学習手法を取り入れた体験コンテンツを導入し、楽しみながら学べるような仕掛けを施す。
	① 主要展示資料	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の絶滅種:ドードー(山階鳥類研究所)、ステラーカイギュウ(鳥羽水族館)、オレンジヒキガエル(萩博物館)など ・日本の絶滅種:ニホンオオカミ(神奈川県立生命の星地球博物館)、ニホンカワウソ(つやま自然のふしぎ館)など ・日本の絶滅危惧種:ヤンバルテナガコガネ(神奈川県立生命の星地球博物館)、イリオモテヤマネコ(環境省生物多様性センター)など ・山口・萩の絶滅種・絶滅危惧種:オオルリハムシ(萩博物館)、アブサンショウウオ(萩博物館)など <p>主な借用先: 山階鳥類研究所、神奈川県立生命の星地球博物館、環境省生物多様性センター、鳥羽水族館、名古屋市科学館、岡山理科大学、つやま自然のふしぎ館 など</p>
	② 関連行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・会場内を探究しながら散策できる体験コンテンツ ・体験学習機会の創出につながる、夏休みらしい自然をテーマとしたワークショップ ・有志高校生や高校生コミュニケーターなどと連携した体験コンテンツ ・平日の団体客に特別展を案内・解説するなど団体向けプログラム など
	③ 広報宣伝・情報発信の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・紙チラシ(40,000～80,000 枚)もしくは電子チラシ: 県内の幼保小中全学年、県内及び近県の商業施設・文化施設に配布 ・ポスター(200～400 枚): 県内及び近県の商業施設・文化施設に配布 ・テレビ CM: 県内 1～3 局 ・SNS 広告: 県内を中心に展開 など
	④外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・萩市内の高等学校: 高校生コミュニケーターとして関連行事の実施 ・NPO 萩まちじゅう博物館: 有志ボランティアとして関連行事の実施 ・中四国地方で同テーマを扱う博物館・科学館など: 展示における連携企画
	⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ・全国科学博物館活動等助成事業を受けて体験展示を制作予定(申請中)